



援助に対する従業員の手紙

親愛なる董事長へ

わたしは謹言と申します。まず、董事長の健康をお祈りいたします。聞くとところによると、董事長はつい先日手術をされたようですが、術後の経過も順調とのこと、わたしをはじめ家族全員心から喜んでます。こうした状況にもかかわらず、董事長はわたしに援助の手を差し伸べてくれました。これに対する感謝の気持ちはどんな言葉でも言い表せません。

わたしは学校を卒業してからずっと合璧で働いてきました。実家は裕福ではありませんでしたが、それでもそれなりに幸せに暮らしていました。ところがある日、父が事故に遭って大ケガをしたのです。そして大きな医療費が必要になりました。このとき、わたしはそのお金を工面するために、会社を辞めて実家に戻り、肉体労働でもしなければいけないと本気で考えました。

ちょうどわたしが苦悩していたとき、花経理と林副理がわたしのことを心配して董事長に相談してくれました。その結果、花経理が現金4万元を持って父の見舞いに来てくれたのです。いま、父はケガの回復に向けて順調な経過をたどっています。このとき、わたしは董事長が台北で病氣と闘っていることを知りました。それにもかかわらず、わたしのことを気に掛け、会社の従業員に募金を呼びかけてくれたことも知りました。そんな董事長に対して、わたしの家族は感謝するとともに、大きな感動を覚えました。そしてわたしは、董事長は一家の長のような無償の愛を与えられる人物だと思いました。

合璧に入社して三年、わたしの中の董事長はいつも慈悲深く、善良で親しみやすい年長者のイメージです。そして毎年利益の5%を社会還元したり、従業員の不幸に対して惜しみなくお金の援助をしたり、恩師を日本や中国への旅行に招いたり、自らの経営理念、「感謝報恩、回饋社会（感謝に報いて、社会還元する）」を実践していることについて、心から尊敬しています。わたしもその恩恵を受けたひとりです。このときの董事長はまるで寒い冬に射す柔らかな日差しのように思えました。

董事長は毎回上海に来るとわたしたちに禅の5Sや生活哲学などの話しをしてくれます。これらはわたしたちの人生においてもかけがえのない宝物です。

先人の言葉に「滴水之恩、当湧泉相報（一滴の水の恩をあふれる泉で報いる）」というのがありますが、わたしも董事長から受けた恩を、今後仕事の中で頑張って返していきたいと思います。

最後にもう一度董事長にお礼をいいたいと思います。そして董事長自身も早くよくなって、わたしたちを率いて行ってほしいと思います。

尊敬と感謝を込めて

上海合璧品管課同仁 滕燕



あなたがいるからわたしの人生は素晴らしい。關心・關懷・關照；同心・同歩・同調。援助を必要としている身の周りの人にもっと感心をもって、董事長のように優しく話しかけよう。思いやりのことばは合璧すべての従業員の心にぬくもりを届ける。

我が心の董事長

「目標を高く持ち、普通の人たちとの縁を大切に、簡素な喜びに幸せを感じる。広い視野で安定を求めれば事は成しやすい」。これは2007年11月6日、わたしが合璧に入社した日に先輩から聞いた董事長の人生哲学です。そのときわたしはこんな心の董事長はきっと素晴らしい人物にちがいないと思って尊敬の気持ちでいっぱいでした。一ヶ月ほど経って、朝礼で董事長に会う機会がありました。董事長は威厳に満ちた中にも優しさをそなえた風格があり、髪は白かったですが、とても元気でした。



董事長は毎朝4時に起床して運動する日課をもう30年も続けているそうです。これには本当に感心させられます。そして、ここからは強い気持ちを持ち続けるという学ぶべき事があります。

董事長から合璧創立時の苦勞を聞いたとき、わたしはまるでそこにいたかのような気持ちになりました。40年という長い年月の中で、世界経済は数々の不況に見舞われ、経営者にとっては厳しい時代もありました。しかし、合璧はそんな中でも発展を遂げてきました。これも偏に偉大なリーダーシップを発揮して会社を引っ張った董事長の功績によるものだと思います。

董事長がかってこういったのを今でも覚えています。「利益を生み出すのは企業の過程、感謝に報いて社会還元することが我々の最終目標」。今日の合璧があるのはそんな董事長の一貫した理念と深い関係があると思います。

わたしは董事長のようなリーダーのもとで働いていることを誇りに思います。そして、そんな董事長の長年の苦勞に応えるためにも、日々の仕事に全力で頑張りたいと思います。

上海合璧電子電器有限公司

中國201-805上海市嘉定區安亭鎮安亭路318號
TEL: +86-21-5950-5465

上海合璧品管課同仁 李夢婷

2009年第三季經營再生會議に感じたこと

このたび経営再生會議に出席しました。わたしにとってこの會議は今回が5回目の出席ですが、毎回思ってもみない収穫があります。また、尊敬する董事長に接しながら会社の経営方針や基本理念を理解するとともに、合璧という素晴らしい会社の一員であることを自覚するよい機会でもあります。



世界的な金融恐慌の影響でアメリカの自動車メーカービッグスリーやトヨタ自動車が苦戦する中、2009年の前三季において合璧は素晴らしい業績を収めることができました。合璧は董事長を中心とした経営陣の下で創業から毎年二桁成長を続け、この15年も大きな発展を遂げてきましたが、ここ2、3年は特に董事長の考えで積極的な改革を行ってきました。これが金融恐慌にも負けない業績につながったのだと思います。

董事長は、人の寿命は75年、企業の寿命は15年といえます。これからすると、30年の企業は人に置き換えれば150歳で、このような企業は全体の6%にすぎないとのこと。来年合璧は創業40周年を迎えます。これは人にすると200歳、わずか3%の存続率に値します。そして今後さらに40年続いて創業80年となると、存続率は0.2%にまで下がります。これは創業40年の企業の中でもわずかに15分の1の割合です。また、合璧が上海に進出して10年になります。つまり、我々中国の幹部にとって、董事長は10年に及ぶ就業の機会を与えてくれたことになり。また、董事長は将来40年の構想も与えてくれました。これは本当に感謝すべきことです。このほか董事長は毎回上海に来られた際に自身の経営経験を話してくれます。

知識は学ぶことができますが、知恵は経験からしか身につけません。そんな貴重な経験を教えてくれるのはたいへん有り難いことです。そして「経営をオープンに、感謝に報いて、社会に還元しながら共存していく」という考えは仕事においてもやる気を起こさせてくれます。今の仕事をやり遂げ、新しい仕事にチャレンジし、同時に部下を育てること、それがこの會議に出席したわたしたち幹部がやらなければならないことだと思います。

同僚やその家族に気配りと思いやりをもって接したり、新しい市場を開拓したり、新製品や技法を開発したり、新しい材料や仕入先を探したり、新しいシステムを構築したり……。わたしたちは董事長を中心に団結して、次の輝く40年に向かって努力していかなければならないと思います。

上海合璧研究開発課主任 楊孝順



禅の5S

企業で働く者にとって、職場の環境は快適で和やかなほうがいいのはいうまでもありません。禅の5Sはそれを可能にするとともに、従業員の質を高め、企業のイメージアップを実現します。逆に禅の5Sを徹底しなければ、工場は汚れ、従業員は規律をなくし、製品の品質や仕事の効率も大きく低下してしまうことでしょう。

わたしたちの会社はいち早く禅の5Sを実施しました。その結果、職場環境はいつも明るく清潔で、工具類は決められた場所に保管され、従業員も秩序を持って働いています。

禅の5Sとは「整理、整頓、清掃、清潔、躰」です。わたしたちの会社では従業員は毎朝自主的に1時間早く出勤して掃除をします。明るく快適な職場環境を維持するためです。その中のわたしの仕事は工場環境衛生担当です。わたしは道に枯葉やごみが落ちていたら、すぐに拾ってきれいにします。みんなでいっしょに頑張っているのだから、しっかりやらなければと思いつつ、このとき、何ともいえない達成感を感じます。これこそがおそらく董事長がみんなに禅の5Sを要求する理由だと思います。

わたしたちは自らの手で清潔にした環境は、それを大事に守ろうとします。まずは身の回りの小さなことから。わたしたち合璧人は、会社はもちろん、その他の公共空間も常に禅の5Sの心で清めていこうではありませんか。そうすることで自らも禅の5Sの最高境地へと成長することができるはずです。

上海合璧品管課主任 袁九霞



黄山見物

このたびは中国の名山・黄山を見物する機会をいただき、会社にとっても感謝しています。また、日頃から尊敬する董事長に同行できたことについても、とても光栄に思っています。さて、今回の旅を通して、わたしはふたつのことを強く感じたので、それを紹介したいと思います。

一、挑山夫（荷役人夫）の精神：肩に百キロ近い荷物を背負って、一步一步階段を上る挑山夫の姿を見ると、なぜか両親の苦勞が浮かびました。80年代後半生まれのわたしにとって、当たり前だった「幸せ」をもう一度考え直す機会になりました。頂上では挑山夫が運んだごはんを食べました。一粒も無駄にせず、感謝して食べました。一粒一粒が全部彼らの汗だからです。



二、董事長の精神「堅持、不畏懼（固い意志、恐れぬ気持ち）」と合璧精神「同心、同歩、同調；関心、關懷、關照（同じ心でともに歩む；気配りと思いやりをもって接する）」：仕事でも生活でも、このふたつの精神を持ち続けたいと思いました。困難に遭っても恐れず、友達が困難に遭ったときは助けてあげたいと思いました。

上海合璧品管課同仁 譚銀玲